

とみや議会だより

第34号



▲冬晴れの七ツ森

第4回定例会	P 3
一般質問	P 6
委員会活動	P14

2025年(令和7年) 2月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編 集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622



～誰もが見やすく読みやすい議会だよりを目指して～

UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザインフォント
を使用しています。



あけまして
おめでとうございます
本年もよろしくお願い申し上げます



年頭のごあいさつ

新年明けまして、おめでとうございます。
皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えることと、お慶び申し上げます。
日頃より本市議会活動に對しまして、多大なるご支援、ご協力を賜り心より感謝と御礼を申し上げます。

今年の干支は「乙巳」であります。巳は神様の使いとして大切にされてきた動物といわれ、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされており、そのため「乙巳」の年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」になると考えられます。

年の始めにあたり、明るい年になることを願うものです。

また、今年は昭和が続いていれば百年という節目の年になります。本市では、将来像である「住みたくなるまち日本一」へ百年間ひとが増え続けるまちから町へ、町から市へを目標した施策の展開を図っているところですが、今年は更に、縁起の良き「百」という数字にあやかり、様々な取り組みが実を結び、未来へ邁進していくものと確信いたしているところでもあります。

我々議会といたしましても、本市の目指す基本方針である「暮らしを自慢できるまち」、「教育と子育て環境を誇るまち」、「元氣と温かい心で支えるまち」そして「市民の思いを協働でつくるまち」の実現に向け議論を重ね、これからも市民の皆様が「この富谷に住み続けたい」と感じて頂けるよう努めてまいりますので、今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

富谷市議会 議長

金子

透

令和6年度 一般会計補正予算

令和6年第4回定例会は、11月29日から12月11日までの13日間の会期で開かれました。
令和6年度一般会計補正予算は、5億1168万円を追加し、歳入歳出の予算総額を205億6292万円とするものです。
歳入の主なものは、子ども医療費助成事業、保健福祉総合支援センター維持管理事業、学校給食センター運営・維持管理事業などです。
そのほか条例の改正、専決処分の承認など、全ての議案を原案どおり可決しました。

総務・産業建設 常任委員会所管

防災センター運営・維持管理事業

問 空調設備工事費377万85千円の工事内容は。

答 エアコンを、談話室・調理室・会議室・和室等へ9台設置します。

問 改修工事の工期スケジュールは。

答 令和7年1月～2月に工事着手し、完成は6月中旬を予定しています。
問 工事期間中に市民活動への影響等は。

答 スケジュールを調整しながら、なるべく機能を損なわないような形で工事を進めます。

生活ごみ・粗大ごみ 運搬業務

問 生活ごみ・粗大ごみ収集運搬に関する債務負担行為業務の内容は。

答 4年に一度の更新が来年度となりましたので、4年間分の運搬費を計上しました。

問 現在の契約額より約5億円増額予算となっている理由は。

答 大幅な増額となった要因は、今般の物価高騰と人材不足による人件費の上昇、また、清掃センターの移転を見据え、資源物の瓶・缶を委託業者で処理を行うことによるものです。

教育民生 常任委員会所管

学校給食

問 国の施策としての給食費無償化は。

答 今後の動向を注視します。

問 国に対して要望した際の感触は。

答 結論には至っていませんが、引き続き要望活動に取り組みます。

問 給食の量が少ないという声があるが、栄養量は適切ですか。

答 栄養バランスや量は国の栄養摂取基準に基づいています。



●●●主なつかいみち●●●

○子ども医療費助成事業	6,100万円
感染症の流行等による助成件数の増が見込まれるため、所要額を増額します。	
○保健福祉総合支援センター維持管理事業	5,005万円
空調設備が経年劣化に伴い故障したため、施設全体の空調設備の改修を行います。	
○防災センター運営・維持管理事業	3,779万円
鷹乃杜防災センターの機能強化のため、空調設備の新設工事を行います。	
○学校給食センター運営・維持管理事業	3,720万円
物価高騰に伴い、学校給食の提供に必要な材料費が不足するため増額します。	

令和7年第1回臨時会

令和7年第1回臨時会が、1月16日に開かれました。本臨時会では、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した、令和6年度個人住民税非課税世帯に対する支援「住民税非課税世帯物価高騰対策支援事業」や、物価高騰に直面している市民生活を下支えするため、市内登録店舗で利用可能な「割増商品券事業」を審議しました。

また、全国的な広域強盗事件の発生を受け、防犯用品購入費の一部助成を審議し、全ての議案を原案どおり可決しました。

割増商品券事業

問 対象外の商品はありませんか。

答 金券やビール券、たばこ等です。詳細は商品券に明記します。

問 ガソリン、灯油等の購入に利用できますか。

答 ガソリンスタンド等で本事業に参加いただける事業者があれば購入可能になります。



問 キャッシュレス決済による購入を可能にしては。

答 今回は緊急性もあるので難しいですが、次回以降の参考にします。

住民税非課税世帯物価高騰対策支援事業

問 給付金額の根拠は。

答 金額は国で決めています。

問 DXの利用により事務作業の効率化を図る考えは。

答 早期に給付するためにも今回もプッシュ給付しました。

問 以前、同様の支援事業を行った際は職員が残業や休日出勤等を行って対応しましたが、今回の体制は。

答 業者への委託やコールセンターを設置します。

問 非課税世帯相当に収入が減った方も対象ですか。

答 住民税非課税世帯のみで、それ以外の方は含まれません。

防犯対策総務事業

問 対象期間は。

答 2月からの想定しています。なお、令和7年度も継続します。

問 どのような物が対象品目になりますか。

答 防犯上有効である物を対象に考えています。

問 どのような方が対象ですか。

答 全世帯が対象です。

問 何度でも申請は可能ですか。

答 一世帯1回限りです。



●●●主なつかいみち●●●

○割増商品券事業

1億4千600万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面している市民への生活支援および消費の下支えとして、割増商品券事業を実施します。

(1万3千円分の商品券を1万円で世帯毎に構成人数分を上限に販売)

○住民税非課税世帯物価高騰対策支援事業

1億397万円

令和6年度における個人住民税非課税世帯一世帯当たり3万円を給付するとともに、当該支給対象者(世帯主)の世帯員で18歳以下の子ども一人当たり2万円を支給します。

○防犯対策総務事業

300万円

全国的な広域強盗事件を受けた防犯意識の高まりを踏まえ、市民生活の安全・安心の確保を目的に防犯用品購入費の一部を助成します。

(補助率1/2、上限5,000円)

第4回定例会(11/29~12/11)・第1回臨時会(1/16) 議案採決結果一覧

	議案	賛成	反対	議決結果	小松	佐藤	伊藤	須藤	畠山	荒谷	菊池	渡邊	村上	塩田	畑山	長谷川	浅野	出川	青柳	渡邊	菅原	金子		
					大介	浩崇	嘉樹	義	由美	敏	美穂	清美	治	智明	和晴	る美	直子	博一	信義	俊一	福治	透		
第4回定例会	富谷市税条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	市長提案	市
	富谷市敬老祝金等支給条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	令和6年度富谷市一般会計補正予算(第5号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	令和6年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	令和6年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	令和6年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	指定管理者の指定について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度富谷市一般会計補正予算(第4号))	16	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
第1回臨時会	地方自治法第180条第1項の規定に基づく市長の専決処分手続(包括指定分)の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	議員提案	市長提案
	令和6年度富谷市一般会計補正予算(第6号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

○賛成 ×反対
※ 議長(金子透)は採決に加わりません。
※ 第4回定例会は議長が欠席となったため、副議長(菅原福治)が議長の職務を行いました。

市政を 問う

一般質問

第4回定例会では12人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を7ページから12ページまで発言順に掲載しています。

文章については、議員自ら作成していますので、原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

7p 伊藤 嘉樹 議員

- ユニバーサルデザイン及びインクルーシブ施策について

7p 菊池 美穂 議員

- 小中学校区の再編成について

8p 青柳 信義 議員

- マイナンバーカード交付申請における郵便局の活用について

8p 渡邊 俊一 議員

- 次期富谷市総合計画について

9p 出川 博一 議員

- 令和7年度予算編成方針は
- 高齢化に伴う医療費の動向は

9p 小松 大介 議員

- 本市の工業団地誘致の方向性について

10p 長谷川 る美 議員

- eスポーツを活用した介護予防の取組について
- 水道事業について

10p 須藤 義 議員

- 富ヶ丘地区の中学校通学について
- 第3次富谷市行政改革の取り組みは
- 富谷市DX推進のその後は

11p 畠山 由美 議員

- 交通支援の拡充を伺う
- 公共施設にWi-Fi導入を

11p 浅野 直子 議員

- 不登校の現状と課題対策・支援は
- 市民の命を守る地域の安全対策について

12p 佐藤 浩崇 議員

- こども家庭センターの設置について

12p 畑山 和晴 議員

- 特別支援学校卒業後の預かりサービスについて
- 健康寿命を伸ばす取り組みについて

このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、次ページ以降の見出しと異なる場合があります。

問 インクルーシブ等の施策推進が必要

答 全職員が意識していくことが大事

これからの社会においては、障がい者等施策はあらゆる人の社会参加を困難にしている障壁の除去をするバリアフリーから、性別・年齢・能力・障がいなどにかかわらず、誰もが利用できる設計とするユニバーサルデザインや、あらゆる人が孤立や排除をされないよう援護し、社会の構成員として包括し、支え合うイ



ンクルーシブという考え

方へ移行しています。これは問題解決を望む市民の声に応える形であった旧来形式の行政対応とは違い、今後はどの自治事務においても、誰もが様々なサービスを平等に利用し、社会参画できるようにするものであると理解します。

問 バリアフリー基本構想の策定は。

答 本市においては、基本構想の作成には至っていません。

問 現在分譲中の明石台十丁目のアーチ型車止めポールについて見解を。

答 ユニバーサルデザインに合致していない箇所は改善します。

問 庁舎内の1階の授乳室、カーテンで仕切られており施錠ができません。さらにはユニバーサルデ



伊藤 嘉樹 議員

ザイントイレですが、手すりは設置されておりますが、背もたれはありません。車椅子ユーザーは、背もたれがないと用を足すことができないそうです。また、トイレの中のおむつ交換台、今設置してある製品が、大体重後2歳半まで、体重15キロぐらいまでが耐荷重です。子供に限らず、様々な方が様々な用途で利用するユニバーサルデザイントイレですから、大人も利用できる折り畳みベッド、こいつといったもののほうが望ましい。それぞれの設備についての見解をお伺いします。

答 今後は利用しやすいように、できるだけ環境整備に努めたいと考えています。

問 適正な学区の再編成が必要では

答 アンケート等意見の集約を予定

本市の将来を担う子どもたちに望ましい教育環境を提供するため適正な学区の在り方について検討を進めるべきでは。

問 均衡の取れた学校規模の維持について。

答 標準学級数や、教室の確保、通学距離を含めた児童生徒や保護者のご意見を考慮するなど、総合的な検討が必要です。

問 国道4号を通学する児童生徒、進学先が分かる富ヶ丘小学校の児童



▲ 国道4号富ヶ丘交差点

への対応が必要では。

答 国道4号を横断する校区への課題、富ヶ丘小学校の児童が同じ中学校へ進学できる学区編成の検討を進めています。

問 国道4号富ヶ丘交差点の歩道橋建設について。

答 一部事業用地の確保が困難で整備は難しく、今年度、路面カラー舗装やポラード設置等により国道4号の速度抑制や注意喚起を実施します。

問 学区再編成による効果と、課題の分析は。

答 効果は通学時の安全確保と、同一小中学校への通学が可能となる点。課題は通学距離の伸長と、日吉台中学校の普通教室に不足が生じることです。

問 教室不足解消のため、例えば仮設や改修等の整備をするならば、



菊池 美穂 議員

費用はどのくらいですか。

答 概算費用7000万円以上を見込んでいます。

問 一方で、少子化の中、生徒数の自然減による教室不足解消は。

答 令和10年度の解消と推計しています。

問 通学距離の伸長には市民バス路線改定や、スクールバスが必要では。

答 今後それらを含みながらの検討となります。

問 保護者や学校、また特に児童生徒本人たちの気持ちを大切に、アンケートやパブリックコメント等、丁寧な意見聴取を求めます。

答 児童生徒、保護者の意向を十分に踏まえた対応が大切です。アンケート等、子どもたちが自分たちの声が生かされた実感できるように進めます。

問 調査費をつけて動き出す意向は

答 7年度予算編成も含め検討したい

私は、一般質問や議会

により等で高齢者を中心としたテーマを取り上げてきました。本市の急速

な高齢化の進展とそれに伴う各種医療費の動向が

気になるところであり、本市の見解を求めます。

問 介護保険特別会計における介護給付費合計の推移と今後の動向は。

答 令和5年度末と令和元年度の比較で、11・1%の増加率となります。

今後の動向は、高齢化の進展に伴い介護給付費は増加傾向で推移していくものと捉えています。

問 後期高齢者医療特別会計における療養給付費の推移と今後の動向は。

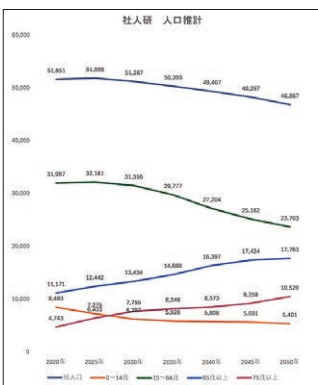
答 令和5年度末と令和元年度の比較で33・3%の増加率です。

後期高齢者医療に関しては県の広域連合が直接的には負担していますが、

1人当たり医療費の伸び率や被保険者数の推計値を踏まえると、令和6年度より8年度の増加見込みは、3か年で約16億円増と推計されます。

問 二つの特別会計への一般会計からの繰出金は平成30年度から令和5年度までの5年間で2億円増えているが。

答 市が負担すべき義務的経費は、そのとおりです。



▲ 富谷市推計人口 (出典：社人研)



出川 博一 議員

問 介護保険、後期高齢者医療保険とも、給付費

・医療費で相応の負担を強いられます。来年度から早めに手を打つべきと考えますが。

答 健康づくりという視点から課題の一つは、高

血糖対策で、国民健康保険と後期高齢者医療の外

来の医療費で糖尿病が1位です。対策によって医療費の削減、また介護予

防にもつながります。

健康づくりの取り組み・維持継続に有効な施策の実施に向けた早期の検討の必要性については十分認識しています。

義務的経費、扶助費が年々かなり大きく膨らんできており、財政状況をしっかりと見据えた計画的な対策を、取っていかないといけないと考えています。

問 工業団地誘致の方向性は

答 持続可能なまちづくりに繋がります

本市は積極的な工業団

地誘致を進めていますが、その詳細は市民に十分に

周知・理解されているとは言えないと感じます。

現状の工業団地の誘致状況なども含めた視点から、

市民が納得して本市の工業団地の在り方について

知っていただく機会をつくる必要があります。そして、今後の本市の工業

団地誘致において、十分な準備・検討が進んでいるか、本市のビジョンや



▲ 遺跡発掘調査の現地説明会

基本計画に合致している

か等についても様々な検証を重ね、市民にとって

最善の方向性を目指していく必要性があります。

問 成田二期北工業団地の企業誘致で想定している企業数・業種は。

答 28区画で、半導体産業を主とした製造業の誘致を想定しています。

問 ゼロカーボンシティとの整合性は。

答 工業団地の整備によって二酸化炭素の吸収

量は減りますが、ゼロカーボンに関する市の全体の取り組みによって目標達成を目指すので、整合性は図られます。

問 工業団地誘致で見込まれる税収と経済効果は。

答 成田二期北工業団地の山林の税収が年間



小松 大介 議員

およそ90万円、当該用地

に製造業が立地した想定で、年間およそ25億円の

税収を見込んでいます。

問 発掘調査の中で、既存する十三塚は全国で17

か所しかなく、そのうちの3か所は国の重要有形民俗文化財に指定されており、大変貴重だと思

いますが見解は。

答 珍しくないものと思

われます。

問 先行投資方式に変更しただけでは契約に結び

付かないのでは。

問 介護予防にeスポーツ活用を**答 引き続き調査研究を進めます**

問 本市の介護予防事業の成果と課題について。

答 成果は、要介護認定率が、国や県の平均値と比較して低い傾向にあり、健康寿命・平均寿命が県平均より高く推移していることです。課題は、高齢者人口の伸び率より要介護認定の伸び率が高い傾向にあることや、事業の男性参加者が少ない為、参加者が固定化しやすく、事業の実施地区に地域偏在が見られることが挙げ

られます。

問 楽しみながらできるといった介護予防のアプローチについての見解は。

答 活動の継続性にもつながり、社会的交流や精神的な健康が向上することが期待されます。

問 eスポーツを通じた多世代間交流については。

答 年齢や性別など属性

問 水道事業について**答 今後も耐震化をしつかり進めます**

問 上水道の管渠の耐震化の現状について。

答 本市が管理する管路施設の令和5年度末の耐震化の状況は、65・4%が耐震管となっています。

問 富ヶ丘浄水場用地を売却することになった経緯と最低売却価格は。

答 平成15年に同地区を



長谷川 美 議員

を超えた世代間交流の推進に寄与する可能性があります。

問 「介護予防」といった観点からの、eスポーツの活用についての検討は。

答 生きがいの向上やフレイル予防の効果検証等の有効性について引き続き調査・研究を進めます。

仙南・仙塩広域水道の供給地域に変更したことか

ら、施設の稼働は停止し

今後、使用予定がないた

め、売却を計画しました。

用地売却は、評価額から

施設解体見込額を差し引

いた額を最低売却価格と

して設定しています。

問 富ヶ丘地区の中学校通学について**答 必要に応じて対応をしていく**

富ヶ丘に住む子どもたちは中学校に入学すると距離の遠い日吉台中学校に通うこととなっています。

問 市民バスの無料乗車証は中学生に適用されま

るか。

答 中学生への無料乗車証の適用は難しいと考え

ています。

問 今後バスを自主運行する保護者団体が発足し

た場合、運行経費の助成

を行う考えはありますか。

答 市内の他の地域との

車両を増やすことによる運行費用の増加や運

転手の確保などの課題が

あります。コース変更については検討します。

問 市民バスの無料乗車証は中学生に適用されま

るか。

答 中学生への無料乗車証の適用は難しいと考え

ています。

問 今後バスを自主運行する保護者団体が発足し

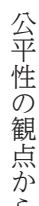
た場合、運行経費の助成

を行う考えはありますか。

答 市内の他の地域との

車両を増やすことによる運行費用の増加や運

転手の確保などの課題が



須藤 義 議員

公平性の観点から難しいと考えています。

問 この問題については、長年にわたり富ヶ丘地区の保護者から声が上がっています。市として何か対応を検討していた

だけないでしょうか。

答 今、学区編成につ

いて調査・検討を行って

いますので、必要に応じ

て対応をしていきます。

問 第3次富谷市行政改革の進捗は**答 適切な人事管理に努める**

「職員1人当たりの住民数」で本市は県内市町村中4番目に高く、職員

の負担が大きい状況です。

問 職員数を増やす考

えは。

答 必要に応じて適切な

人事管理に努めます。

その他の問**問 富谷市DX推進のその後は**

答 今後もDXの推進を進めていく



▲ デマンド型交通

問 交通支援の拡充を伺う

答 デマンド型交通の再編考えていく

問 今後5年から10年で多くの方が運転免許を返納することが予想されますが、市民の生活を支える交通支援の拡充は急務です。あらゆる世代の方への利便性のある交通支援策の実現へ、「市民バスアンケート調査」からの分析と課題は。

答 利用目的は買い物と通院で約7割です。課題は、市民ニーズに対応したさらなる利便性の向上と、より多くの皆様に利用いただくための施策の展開です。



▲ 富谷市バス

問 ひより台からイオン富谷まで直通のバスコース再検討または、デマンド型交通路線の拡大が必要では。

答 既存の利用状況や、路線変更によるメリットとデメリットを分析し検討します。

問 バス停まで距離がある地域には、女性でも運転可能な小型バスを導入しては。

問 公共施設のWiFi導入を

答 優先順位を見極め整備に努力する

問 災害対策本部や緊急避難場所にWiFiを設置することで、災害発生時の情報伝達手段が確保しやすくなります。また、公民館や西成田コミュニティセンター利用の方から、ネット環境の

整備を求める声がありますが、見解は。

答 整備費用が伴うことから、計画的に優先順位を見極めながら、整備に努力していきたいと思えます。



畠山 由美 議員

問 不登校の現状について

答 非常に重く受け止めています

本市の不登校における子どもの居場所づくりや現状と課題対策・支援について質問します。

問 不登校の現状は。

答 増加傾向にあります。特に小学校で上昇しています。

問 原因と課題は。

答 さまざま要因が複雑に関連しています。魅力ある学校づくりや楽しく学べる授業づくりなども重要であると考えます。

問 民間団体事業者等との連携による出席認定は。

答 県内でいち早く民間施設とのガイドラインを策定、多様な確保に努めています。



問 不登校特例校の小学校部門の検討については。

答 西成田教室における学びの保障を重視したカリキュラムにより確かな成果が出ています。

一定の効果が期待できることから、検討課題とし既存の充実を図り利用頻度を高めていくことに注力します。

問 市外の場所で学ぶ児童生徒への交通費支援は。

答 交通費支援は実施していない状況です。

問 防犯補助事業の拡充と展開は

答 実施に向けて準備を進めます

市民の命を守る防犯対策に支援が大事です。

問 窓ガラス等の強化やセンサーライト、錠と鍵強化の補助支援は。

答 防犯用具の購入費補助制度の実施に向けて準備を進めています。



浅野 直子 議員

問 こども家庭センター設置について**答** 令和7年度設置で進めていきます

令和5年4月、こども家庭庁が発足しました。

本市では、富谷市総合計画・後期基本計画において「子どもにやさしいまちづくり」の視点が設けられ、全庁を挙げて子どもにやさしいまちづくりが推進されています。

問 こども家庭センターの設置が努力義務化されたことを受け、本市の基本方針と施策の展開は。

答 こども家庭センターの設置を早急に実現するため、令和7年度におい



て、現行の機能を生かし、子育て支援課と「とみここ」、分散型の子ども家庭センターを設置し、段階的に母子保健と児童福祉の両機能を1カ所に集めた集約型のこども家庭センターとしたい考えです。

問 こども家庭庁の政策に沿った形で見直しや強化を図るポイントは。

答 本市においては、こども家庭庁創設以前の平成29年度から、国連の「子どもの権利条約」の精神に則り、国内ではいち早く子どもにやさしいまちづくりの取り組みをとおして子どもの権利保障の推進に積極的に取り組んできました。

困難な課題を抱える子どもや子育て家庭への支援については、一層の強化を図っていくことが必



佐藤 浩崇 議員

要と認識しています。とりわけ、子どもの生活および学習面を支援する新たな居場所の整備や、発達に支援を要する子どもへの支援の拡充などにつままして、具体的な検討を進めています。

問 市内にある各関係機関との連携が重要になると考えます。各関係機関との協力体制の構築および支援の質の向上は。

答 本市がこれまで構築してきた要保護児童対策地域協議会のネットワークを継続しながら、本市に新設された宮城県中央児童相談所黒川支所や、宮城県済生会などの新たな機関とも連携を深めるなど、協力体制の拡充・強化を図っています。

問 特別支援学校卒業後の預かりを問う**答** 必要であると認識しています

障がいのある生徒が特別支援学校高等部を卒業すると「放課後等デイサービス」が利用できなくなる「18歳の壁」が存在します。そのため保護者は、就業自体を諦めざるを得ない状況に陥るなど、負担が大きいと聞きます。

このことから市独自の受け入れる事業者への補助等の施策は早急に必要であると思います。

問 特別支援学校卒業後の日中預かりについて、保護者からの声は。



答 保護者からの声は特段ありませんが、障がい者団体の方からは、親が離職や時短勤務にしなければならぬ状況であると聞いています。

問 これまでの相談で実行された支援策、補助等はありませんか。

答 障がい福祉サービスの事業所で日中一時支援事業の実施や障がい福祉



畑山 和晴 議員

サービスである居宅介護や生活介護などの利用支援を行っています。

問 家庭への負担軽減のためにも細やかな支援策、補助等を市独自で行っていく必要があると思いますが。

答 安心して過ごせる環境づくりを作っていくことが責任であるため、今後検討していきます。

問 健康寿命を伸ばす取り組みを問う**答** 重要性を十分認識しています

問 ウォーキングコースを各地区に作っては。

答 ウォーキングコースや既存のウォーキングコース利用も含め、コースの新設や情報発信方法の工夫について検討します。

問 大亀山公園にウォーキングコースを設置することで、利用者増にもつながるのでは。

答 ウォーキングコースの整備なども検討内容に織り込み、心身の健康に配慮した公園づくりを検討します。

議会報告会

日時：2025年 3月29日 土
14:00～15:30

会場：東向陽台公民館
2階 研修室



◆今回の議会報告会では「これから10年先のまちづくりに望むこと」を意見交換のテーマといたしますが、特に下記の項目についてご意見を募集します。

議会として、皆様の声を可能な限り政策に反映したいと思っておりますので、ご意見、ご参加をお待ちしております。

- 市民協働、防災安全について
- 子育て支援、高齢化社会に向けて
- 企業誘致について
- 議会活性化について 等

意見交換については、予め市民の皆様からご意見をいただきたいと思います。富谷市議会事務局まで、メールまたはFAXにて3月10日までお寄せください。

メールアドレス gikai@tomiya-city.miyagi.jp FAX 022-358-2280

「開かれた議会」を目指します

よりよいまちづくりのために

調査しました

(10月～12月実施)

一般質問

委員会活動

各委員会の説明

総務常任委員会…市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

教育民生常任委員会…教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

産業建設常任委員会…経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

◎調査日 10月29日

市民の方に対しどのような備蓄品があるのか、避難する場所（車で避難する避難場所）、協定先など伝わっているかと言えば、そうではないと感じています。町内会の班長などになった人であれば理解はしていますが、何年かすれば忘れてしまうこともあると思います。

年一回の防災訓練以外でも、例えば「忘れる前の確認です」などとタイトルを付けて定期的にLINEや広報で伝えることも必要であると思います。災害は忘れた頃にやってきます。忘れる前に意識付けることが日頃の防災意識を持てると思います。今後は、自主防災会へ

の補助金の復活は必要です。町内会費で補うことには限界があり、コミュニケーション助成は備品に限るということで、限定を解除し必要なものを揃えることができる環境を作らなければなりません。

災害対応について 防災意識を高める 啓蒙活動が必要

調査先：総務部 防災安全課



総務常任委員会

eスポーツを活用した介護予防事業について

健康施策に世代間交流で eスポーツ導入を

調査先：静岡県島田市

◎調査日 10月22日

島田市は、新たな「eスポーツ」の取り組みで、高齢者の介護予防や認知症予防を推進し健康寿命の延伸を図っています。高齢者を中心にしながらも多世代間交流にも力を入れて活気のある事業展開となっています。社会的交流が乏しくなる高齢者にとって、外出の



機会が得られ、人とのコミュニケーションが取れる環境は生きがいに繋がります。事業展開は静岡県eスポーツ連合への委託により、スムーズに運営されていきました。富谷市での事業導入には慎重な調査研究が求められますが、介護予防の観点から有効であること

は間違いのないと思われました。また、男性の参加も期待できる事業であり、社協や公民館の生涯学習講座、イベントなど多くの市民に体験できる機会を設けることなど、認知度を高めながら事業の展開を促すことを提言したいと思います。

◎調査日 10月23日

磐田市では、基本方針に「スポーツ交流健康都市宣言」を掲げ、健康で魅力的な人づくりと地域間交流が盛んな活気あふれるまちづくりに取り組んでいます。

文部科学省の部活動改革において、磐田市教育委員会（放課後活動課）が運営事務局となり、新たな地域クラブ活動「SPO☆CUL I WATA」を設立しました。既

学校部活動の地域連携・地域移行について 部活動の地域移行へ 指導者の確保と連携強化を 調査先：静岡県磐田市



存の学校部活動を地域連携しながら再編し、スポーツ・文化等の活動団体や個人活動者の新たな参画を得て、すべての中学生のための新たな地域クラブ活動形態を共創しています。

さらに、中学校教職員の負担軽減、そして、学校部活動の枠を越え企業や大学等、地域とのスポーツ連携を促進することを大きな目的としてい

ます。

本市の部活動の地域移行を進めるにあたり、何より生徒の自主性や目標を阻害することなく、また、保護者をはじめ、市民、スポーツ団体へ十分な説明を行いながら、協力と支援体制を構築していくことが重要であると認識した視察であり、指導者の確保など今後も調査研究を進めて参ります。

〈その他の調査先〉

◎調査日 10月24日 静岡県掛川市
地域健康医療センター「ふくしあ」について

産業建設常任委員会

ラピダス工場建設について
環境整備等が重要に

調査先：北海道千歳市



◎調査日 10月28日

国策である半導体事業、熊本に続き千歳市のラピダスにも大きな期待がもたれ、大きな経済効果が期待されています。

ラピダスは、半導体工場としては国際的にも稀な、空港（新千歳空港）に隣接しており、国道、

高速道路、港湾等への交通アクセスの利便性も高い場所に立地しています。

千歳市の当面の課題として、工場周辺の環境整備、環境保全。上下水道、

周辺のインフラ整備。建設作業員の受け入れ、操業後の従業員の居住の確

保、地価の高騰と、今後富谷市の課題とも共通する点が多くあると思われます。

千歳市の今後の発展は、世界から注目されると感じます。

◎調査日 10月29日

恵庭市は、札幌市と苫小牧港の中間に位置し従来より交通の利便性が良く、流通関連の企業が進出している地域であり、そのため市の既存の工業地はすべて完売しているとの事でした。

周辺自治体の変化に伴い、都市計画マスタープランの見直し、JR3駅を中心とした、都市機能の強化を目指すとの事でした。

導体産業だけに左右されない、企業誘致を行っていくとの事でした。

今後の富谷市の企業誘致には、インフラ整備・充実や都市計画マスタープランの見直しも重要と考えます。

企業誘致について
今後の誘致には都市計画
マスタープランの見直しも重要

調査先：北海道恵庭市



議員全員協議会を開催しました

令和6年11月22日

- (1) 提出予定議案等に関する案件
 - ① 令和6年度富谷市一般会計補正予算(第5号)
 - ② 令和6年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
 - ③ 令和6年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)
 - ④ 令和6年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 - ⑤ 指定管理者の指定について
 - ⑥ 専決処分の承認を求めることについて
(令和6年度富谷市一般会計補正予算(第4号))
- (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
 - ① 富谷市新複合施設(図書館・児童屋外遊戯施設・スイーツステーション)の正式名称及び愛称について

② 富谷市地方創生総合戦略の取組状況について

その他

- ① とみや議会だよりへのイラスト及び写真の掲載について

令和6年12月2日

- (1) 提出予定議案以外の案件
 - ① 総合病院候補地 用地取得の進捗状況について
 - ② 富谷市地域公共交通計画(素案)について

令和7年1月9日

- (1) 提出予定議案等に関する案件
 - ① 令和6年度富谷市一般会計補正予算(第6号)
- (2) 提出予定議案以外の案件
 - ① 公民館の市民センター化について

富谷市シルバー人材センターから支援の要望

令和6年10月15日、公益社団法人富谷市シルバー人材センターの長谷川理事長から議長に、地域社会に貢献するセンターの決意と、支援の要望が提出されました。

経営基盤を強化、デジタル化および就業意欲のある高齢者の受け皿としての決意とともに、事業推進の為の補助、独自事業への支援、事業の発注確保などの要望がされました。



陳情書

- 臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情
一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章
- 全国一律最低賃金の創設と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書
宮城県春闘共闘会議 代表幹事 高橋 正行
全て議員配付となりました。

請願と陳情の提出方法

市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

● 請願書

請願書を提出する場合は、市議会議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると、本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は、請願者に通知されます。

また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関はか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることになります。

● 陳情書

陳情書を提出する場合は、市議会議員の紹介は不要です。陳情書は議員に配付されます。

請願書・陳情書について、詳しくは富谷市議会HPをご覧ください。

議会活性化調査特別委員会

市民に信頼され、開かれた議会、市民の負託に応えられる議会を目指し、調査をします。

11月29日

【議会活性化調査特別委員会】

- (1) 調査項目の検討について
- ・ 富谷市議会に対する意識調査について

- ・ 議会報告会及び意見交換会の実施に向けた検討について
- ・ タブレットの導入について
- ・ 中高生への出前講座(模擬議会等も含む)について

(2) その他

1月9日

【議会活性化調査特別委員会・議会報告会小委員会】

- (1) 議会報告会について
- ・ 前回実施内容の確認について
- ・ 今回の実施内容について

(2) その他

【議会活性化調査特別委員会】

- (1) 議会報告会について
- ・ 議会報告会における検討事項について

(2) その他

富谷市議会録画配信URL

<https://tomiya-city.stream.jfit.co.jp>



富谷市議会インターネット

検索



次回の定例会は2月下旬開会予定です。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 022-358-0622



未来へはばだけ とみやっ子



明石台くまちゃん保育園

「のんびり・ゆつたり・愛情たっぷり くまちゃん保育園」

令和三年四月より
県の認可を頂き、0
・1・2歳児に特化
した園として、旧く
まちゃん保育園の場
所から現在の場所へ
と移転しました。働
く親御さんが安心し
てお子さんを預けら
れるよう、健康や安
全に配慮しながら、
一人一人に目が行き
届くよう丁寧な保育
を常に心掛けていま
す。小さな集団でゆ
つたりとした雰囲気の中、
保護者の方と密に情報共
有しながら、子ども達の
成長を喜び合っておりま

す。また地域に開かれた
保育園を目指し、地域の
皆様に見守られながら
日々保育に励んでおりま
す。
赤ちゃんは、生まれた
時から五感を持ち様々な
刺激を受けて、脳も体も
成長していくと言われて
います。子ども達は、そ
の五感を使い、四季おり
おりの変化を感じ、天気
の良い日は公園までお散
歩をし、元気いっぱい動
き回って遊んでおります。
心身共に豊かに成長し、
次のステップに送り出せ
るよう、日々の保育を頑
張って参りたいと思いま
す。



<表紙紹介>

冬晴れの七ツ森

冬晴れの七ツ森に美しいきり雲が低く棚引いていました。

まだしばらく寒い日は続きますが、おひさまは日を追うごとに高くなっています。

令和6年第4回定例会が終わわり、新年を迎えました。この冬は、寒くなるに従いインフルエンザ、新型コロナウイルス、マイコプラズマなどの感染症が広がっています。適切な感染予防に努め健康な日々を過ごしましょう。

編集後記

3月29日には東向陽台公民館において、議会報告会が開催されました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

議会広報調査特別委員会では、わかりやすい「とみや議会だより」作りに取り組んでいます。

広報委員 渡邊 清美

未来のクリエイター 人形劇団

七ツ森座

新・十宮物語の人形劇完成

富谷市を拠点に活動しているアマチュア人形劇団七ツ森座です。13人のメンバーの特技や持ち味を活かし合い、脚本、演出、人形製作、挿入歌に至るまで全て手作りです。メンバーは仕事や地域の役職（民生委員等）で多忙ななか、子ども達や高齢の方々の笑顔をみたいという思いで活動をしています。

この度、8作目の作品として「新・十宮物語」を制作しました。富谷の地名の由来となった昔話です。先人たちはこの物語りを通して伝えたかったものは何なのかを考え、民俗ギャラリーを訪ね、富谷町誌を拝読し歴史のロマンを味わいました。

登場人物の心情を深掘りして「愛」をテーマに、本来のあらすじに肉付けをしました。クスッと笑える場面や、涙を誘う場面を織り込んでいます。

人形劇を通して心の対話をし、皆様のそれぞれの感性で何かを感じ、心の栄養として役立ててもらえたら嬉しいです。

みんなの広場



▲ 上演風景（街道まつり）